

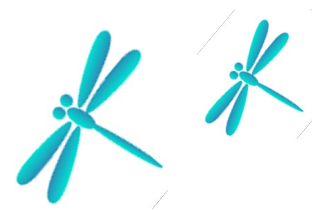
# 2022年 3月期 決算説明会

本資料に掲載されている現在の計画、見通しなどのうち歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり  
これらは現在入手可能な情報から得られたデータを会社の判断に基づいて示しております。  
従って、実際の業績は様々な要因により、これら業績の見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おきください。

2022年 5月10日


 **ニチアス株式会社**

# 1. 2022年3月期 決算概要 前中期経営計画の振り返り (2017年3月期～2022年3月期)



# ◇ 2022年3月期 決算の要点

(単位：億円)

	2021年 3月期 実績	2022年3月期		増減率	
		予想	実績	前期比	予想比
売上高	1,964	2,155	2,162	10.1%	0.3%
営業利益	196 10.0%	260 12.1%	263 12.1%	33.9%	1.0%
経常利益	213 10.8%	280 13.0%	306 14.1%	43.7%	9.2%
特別利益	6	3	22	—	—
特別損失	43	26	21	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	107 5.5%	190 8.8%	220 10.2%	105.6%	16.0%

# ◇ 2022年3月期 決算の要点

(単位：億円)

セグメント		2021年 3月期 実績	2022年3月期		増減率	
			2/7 予想	実績	前期比	予想比
プラント向け 工事・販売	売上高	635	580	590	▲7.2%	1.7%
	営業利益	80 12.6%	58 10.0%	62 10.5%	▲22.9%	6.3%
工業製品	売上高	429	480	479	11.6%	▲0.2%
	営業利益	59 13.8%	82 17.1%	80 16.8%	36.1%	▲2.0%
高機能製品	売上高	249	355	360	44.9%	1.5%
	営業利益	36 14.5%	75 21.1%	79 22.0%	120.2%	5.8%
自動車部品	売上高	382	450	447	16.8%	▲0.8%
	営業利益	19 5.0%	41 9.1%	40 9.0%	112.9%	▲1.6%
建材	売上高	268	290	287	7.0%	▲1.1%
	営業利益	2 0.8%	4 1.4%	1 0.4%	▲53.1%	▲74.4%
計	売上高	1,964	2,155	2,162	10.1%	0.3%
	営業利益	196 10.0%	260 12.1%	263 12.1%	33.9%	1.0%



高機能製品が全社を牽引  
過去最高の業績



# 前中期経営計画の振り返り (2017年3月期～2022年3月期)



ニチアス

(金額：億円)

項目	2016年3月期 実績	2021年3月期 目標値	1年延長	2022年3月期 実績
売上高	1,704	2,200		2,162
営業利益 (%)	151 8.9%	— 10%以上		263 12.1%
ROE	8.2%	10%以上		15.2%
設備投資額	43	5年総額 550		6年総額 634 (2022年3月期 114億円)

従来の2021年3月期を最終年度とする中期経営計画でありましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響を鑑み、期間を1年延長しております。

(1年延長した2022年3月期においては、事業環境の検証・見直し、変化に対する体制整備を進めました)



働きやすい

明るい会社

ありがとう

cảm ơn bạn

Terima kasih

ありがとう

謝謝

Gracias

ありがとう

THANK YOU

ありがとう

Děkuji

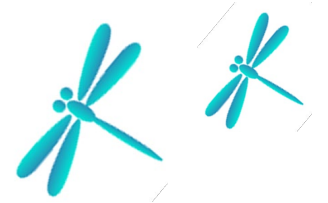
Danke

ありがとう











고맙습니다

ありがとう

## 2. 2023年3月期の見通し






セグメント	2022/3月期 【結果】	2023/3月期 【予想】
プラント向け 工事・販売		
工業製品		
高機能製品		
自動車部品		
建材		

# ◇ 2023年3月期 業績予想

(単位：億円)

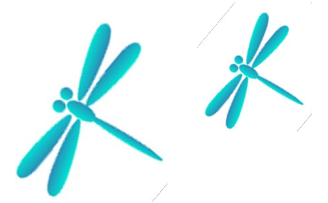
	2022年 3月期 実績	2023年3月期			増減率
		上期 予想	下期 予想	通期 予想	前期比
売上高	2,162	1,090	1,160	2,250	4.1%
営業利益	263 12.1%	120 11.0%	145 12.5%	265 11.8%	0.9%
経常利益	306 14.1%	120 11.0%	145 12.5%	265 11.8%	▲ 13.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	220 10.2%	80 7.3%	100 8.6%	180 8.0%	▲ 18.3%

# ◇ セグメント別 業績推移

(単位：億円)

セグメント		19/3期 実績	20/3期 実績	21/3期 実績	22/3期 実績	23/3期 予想	増減率 前期比
プラント向け 工事・販売	売上高	673	658	635	590	630	6.8%
	営業利益	62 9.2%	72 10.8%	80 12.6%	62 10.5%	68 10.8%	10.3%
工業製品	売上高	465	452	429	479	490	2.3%
	営業利益	75 16.0%	60 13.2%	59 13.8%	80 16.8%	80 16.3%	▲0.4%
高機能製品	売上高	249	216	249	360	380	5.5%
	営業利益	42 16.9%	28 12.7%	36 14.5%	79 22.0%	71 18.7%	▲10.5%
自動車部品	売上高	450	437	382	447	460	3.0%
	営業利益	39 8.7%	30 6.8%	19 5.0%	40 9.0%	43 9.3%	6.6%
建材	売上高	318	325	268	287	290	1.1%
	営業利益	9 2.8%	15 4.7%	2 0.8%	1 0.4%	3 1.0%	193.4%
計	売上高	2,155	2,089	1,964	2,162	2,250	4.1%
	営業利益	226 10.5%	204 9.8%	196 10.0%	263 12.1%	265 11.8%	0.9%

# 3. 長期ビジョン





## 取り巻く環境 (マクロ)

### 政治的要因

### Politics

- ✓ 異なる政治体制間での対立激化 (民主主義 vs 非民主主義)
- ✓ 新たな通商枠組 (TPP, RCEP, FTA)
- ✓ 国際的な租税 (環境税, BEPS, 法人税引上げ)

### 社会的要因

### Society

- ✓ 労働資源の変化 (国内は高齢化と人手不足, 海外は人件費上昇)
- ✓ 働き方の変化 (働き方改革, ワークライフバランス)
- ✓ 多様性と共助社会… SDGs

### 経済的要因

### Economy

- ✓ 経済成長ペースの鈍化 (成長重視から持続可能性重視へ… ESG)
- ✓ 石化燃料減少によるエネルギーコスト増加
- ✓ 原材料不足と価格高騰, 物流コスト上昇
- ✓ Eコマースの拡大

### 技術的要因

### Technology

- ✓ デジタル技術の普及・拡大 (情報通信技術, 省力化, データ連携・活用)
- ✓ 内燃機関から電動化へのシフト加速
- ✓ エナジートランジション (水素・アンモニア)

### 環境要因

### Environment

- ✓ 地球温暖化 = 自然災害の増加 異常… 気象・海面上昇・干ばつ・災害の甚大化 (カーボンニュートラルの加速)
- ✓ 環境汚染の深刻化… 大気・水質・土壌 (廃棄物・化学物質規制の拡大)



## セグメント別 環境

プラント向け  
工事・販売

- ✓ 電源構成の変化 (化石燃料の減少) ✓ 改正労働基準法施行 (24年~)
- ✓ プラント分野におけるカーボンニュートラルへの取組み加速  
(省エネ需要の高まり, 水素・アンモニア・CO<sub>2</sub>回収技術の実証化開始)

## 工業製品

- ✓ 国内の主要製造業・顧客はカーボンニュートラルとへの取組み加速
- ✓ 中国の環境規制は継続 (更には東南アジア、新興国への広がり)
- ✓ SDGsの高まり … 製品や技術との関連性明確化

## 高機能製品

- ✓ データセンターの更なる投資, 社会のデジタルシフトの加速  
(幅広い世代のロジック及びメモリ需要の広がり)
- ✓ 微細化に伴う技術進化 ✓ 環境規制の強化 (CO<sub>2</sub>排出削減・3Rほか)

## 自動車部品

- ✓ 先進国(地域)を中心に次世代車が普及・促進  
(反面、当面の間は内燃機関車は新興国を中心に需要が見込まれる)
- ✓ 部品・材料レベルにおいても低炭素化の技術要求が高まる

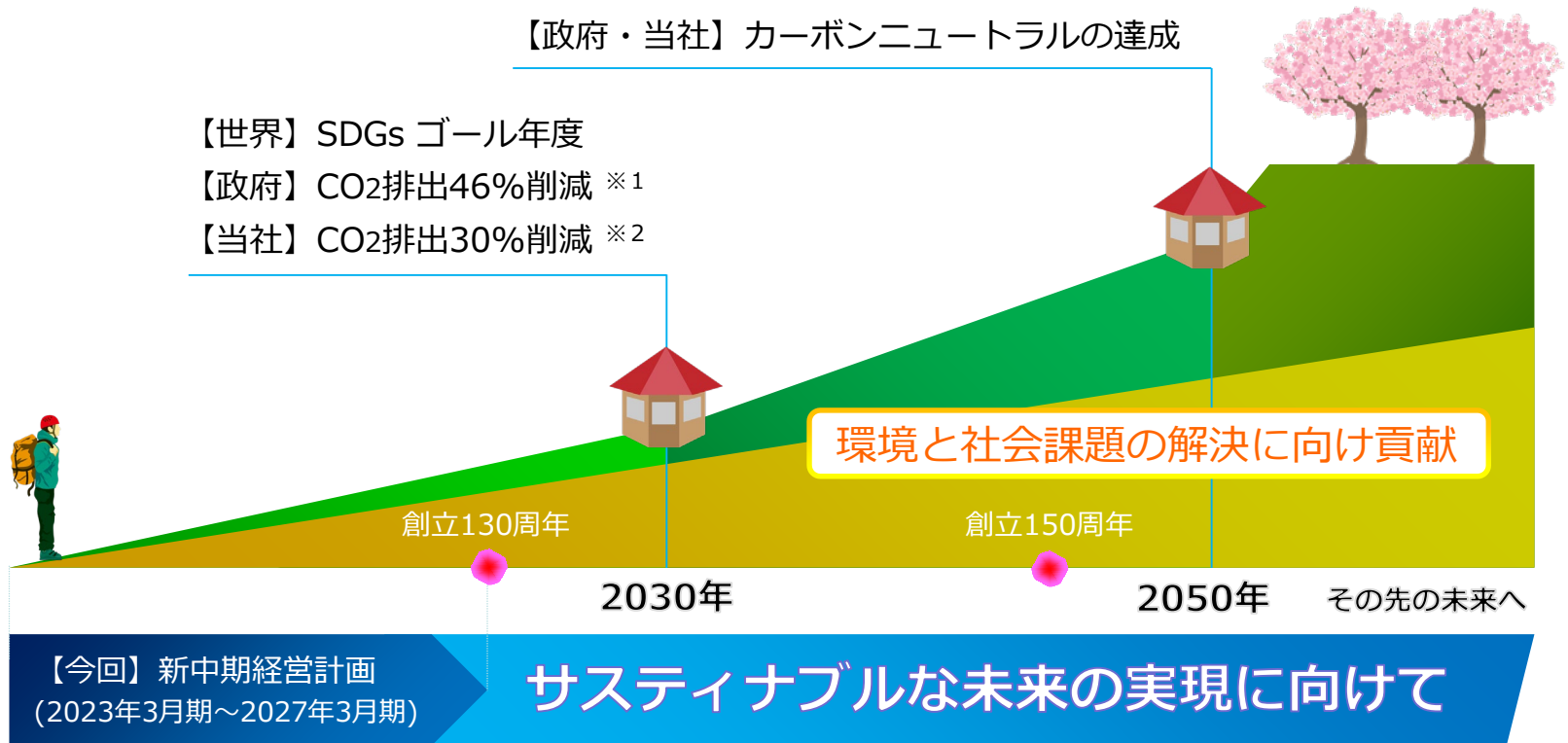
## 建材

- ✓ 国内の人口減少に伴い住宅着工は下降傾向
- ✓ eコマース市場の拡大により店舗は減少、反面、倉庫需要は継続
- ✓ 環境に配慮した製品要求が高まる (低炭素・リサイクル)



2つの大きな歯車を組合せ 

**スピードと効率化を  
加え深化する**



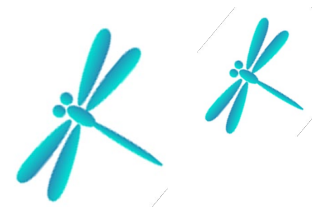
## 「断つ・保つ」で明るい未来へ

「断つ・保つ」の技術とこれまで培った独自のビジネスモデルを  
 深化させ、環境と社会課題の解決に貢献して行きます。



# 4. 新中期経営計画について

(2023年3月期～2027年3月期)



# ニチアスグループ 新中期経営計画

しくみ  
13 

 **ニチアス株式会社**



## 中期経営計画の位置付

【世界】SDGs ゴール年度

【政府】CO<sub>2</sub>排出46%削減【当社】CO<sub>2</sub>排出30%削減



- 👉 世界が本気で環境課題と向き合う時代へ
- 👉 社会課題は企業の根幹を担うミッション
- 👉 技術革新のスピードは更に加速
- 👉 デジタル技術の活用が成長を左右する

環境と社会課題に向き合い、変化に適応する力が求められる



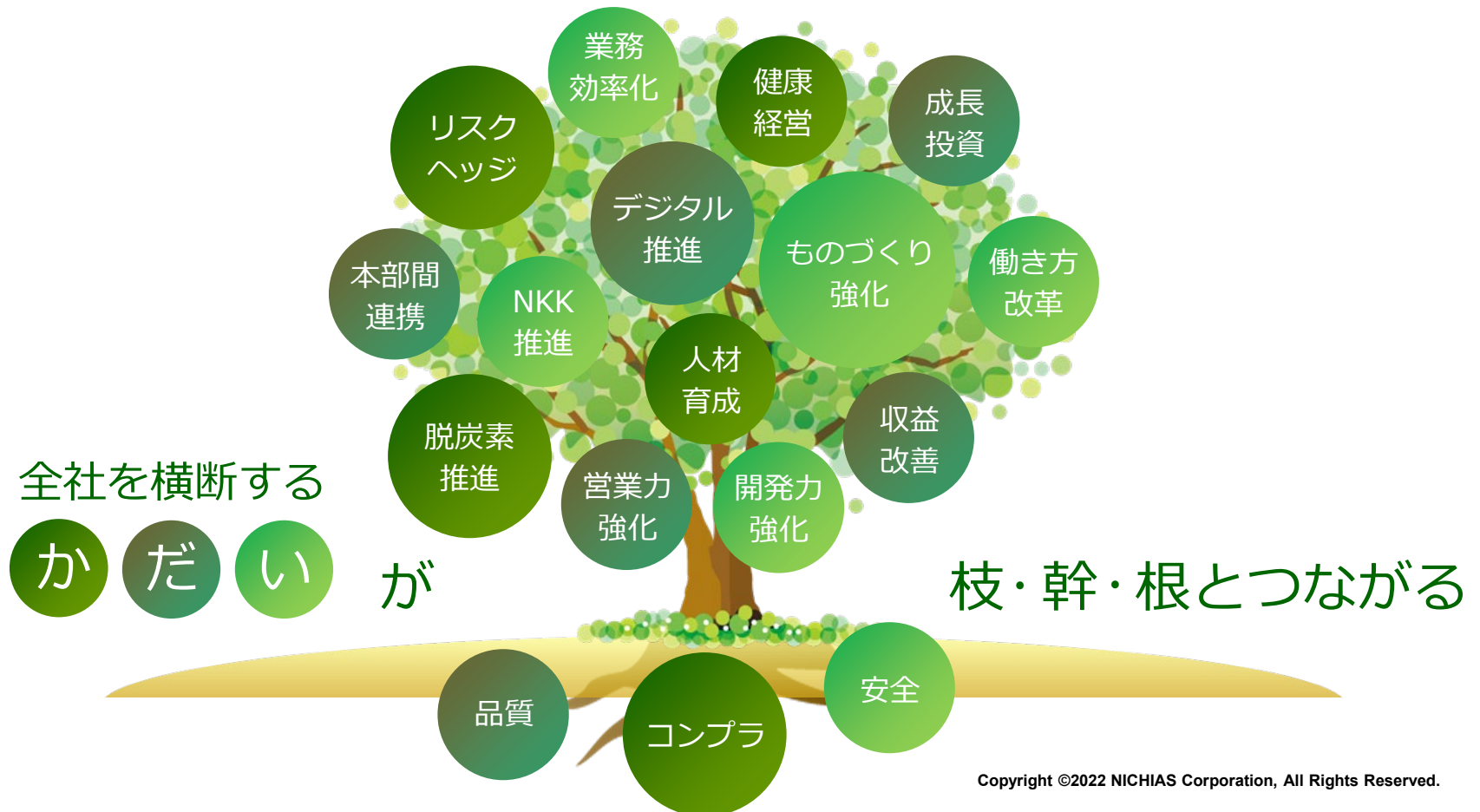
新中期経営計画の最終年度にあたる2027年3月期は、創立130周年の節目を迎えます。外部環境が目まぐるしく変化する中、変化に対応できる「しくみ」を構築して行くことが未来への架け橋になると考えます。タスキを繋ぎ、これからも時代と共に歩み続けます。

# 働きやすい明るい会社 の実現



従業員が活躍できる職場環境が実現できてこそ、業績向上とサステイナブルな未来が望める

# 「しくみ」づくり



# 変化に対応する「しくみ」づくり

し

**しあわせ (幸せ)** 従業員とその従業員を支える  
家族が幸福になる「しくみ」

「働きやすい明るい会社」

く

**くふう (工夫)** 現状に満足せず、課題解決のため  
部門を越えた工夫する「しくみ」

「前向きな思考・前向きな組織」

み

**みらい (未来)** 社会・環境の変化に適応しながら  
持続的な成長を目指す「しくみ」

「明るい未来を拓く」





# 働きやすい明るい会社

ニチアス「幸せ」価値指数  
現在策定中 (NGI)

【年輪経営】 持続的成長

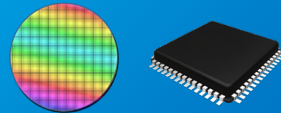


※ NGI : ニチアス版「KGI」

※ NPI : ニチアス版「KPI」

半導体や電子部品を  
はじめとする

## 先端分野



「断つ・保つ」の技術を  
生業とする企業使命

## 環境分野





人々の社会生活を支える

## 暮らしの 基盤



セグメント	注力分野	事業戦略
プラント向け 工事・販売		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 省エネ需要の取込みと次世代エネルギー、インフラ案件の調査・参画</li> <li>✓ 工事、販売のシナジー効果による収益性向上</li> </ul>
工業製品		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 注力分野を伸長させるとともに新たな事業を創出マザー事業としての役割強化</li> <li>✓ 最適な生産・供給体制の構築</li> </ul>
高機能製品		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 重要顧客に対する密着対応</li> <li>✓ 市況を先読みした生産体制の構築</li> </ul>
自動車部品		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 次世代車向け新製品開発・スペックイン</li> <li>✓ 既存事業・製品の収益改善</li> </ul>
建材		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 収益改善と事業構造の見直し (製品・設備の取捨選択と生産体制の最適化)</li> <li>✓ 環境を意識した製品、製法の展開</li> </ul>


	2022年3月期 実績	2025年3月期 目標値	2027年3月期 イメージ
期間	前中計 最終年度	第1ステージ (前半3カ年)	第2ステージ (後半2カ年)
<b>売上高</b> (億円)	2,162	2,400	2,500
<b>海外売上高</b> (億円)	403	480	600
<b>営業利益率</b> (%)	12.1%	13.0%	15.0%
<b>設備投資額</b> (億円)	114	<b>5年総額：600億円</b> を目安 うち 環境関連投資100億円, 効率・省力化投資50億円	

	2022年3月期 実績	2025年3月期 目標値	2027年3月期 イメージ
期間	前中計 最終年度	第1ステージ (前半3カ年)	第2ステージ (後半2カ年)
<b>ROE</b> 自己資本利益率 (%)	15.2%	12.5%	13.0%
<b>ROIC</b> 投資資本利益率 (%)	12.9%	11.0%	12.0%
<b>EBITDA</b> 金利・税金・償却前利益 (億円)	329	400	450

(ROICは第2ステージを目途に事業毎に目標値と結果を開示予定です)

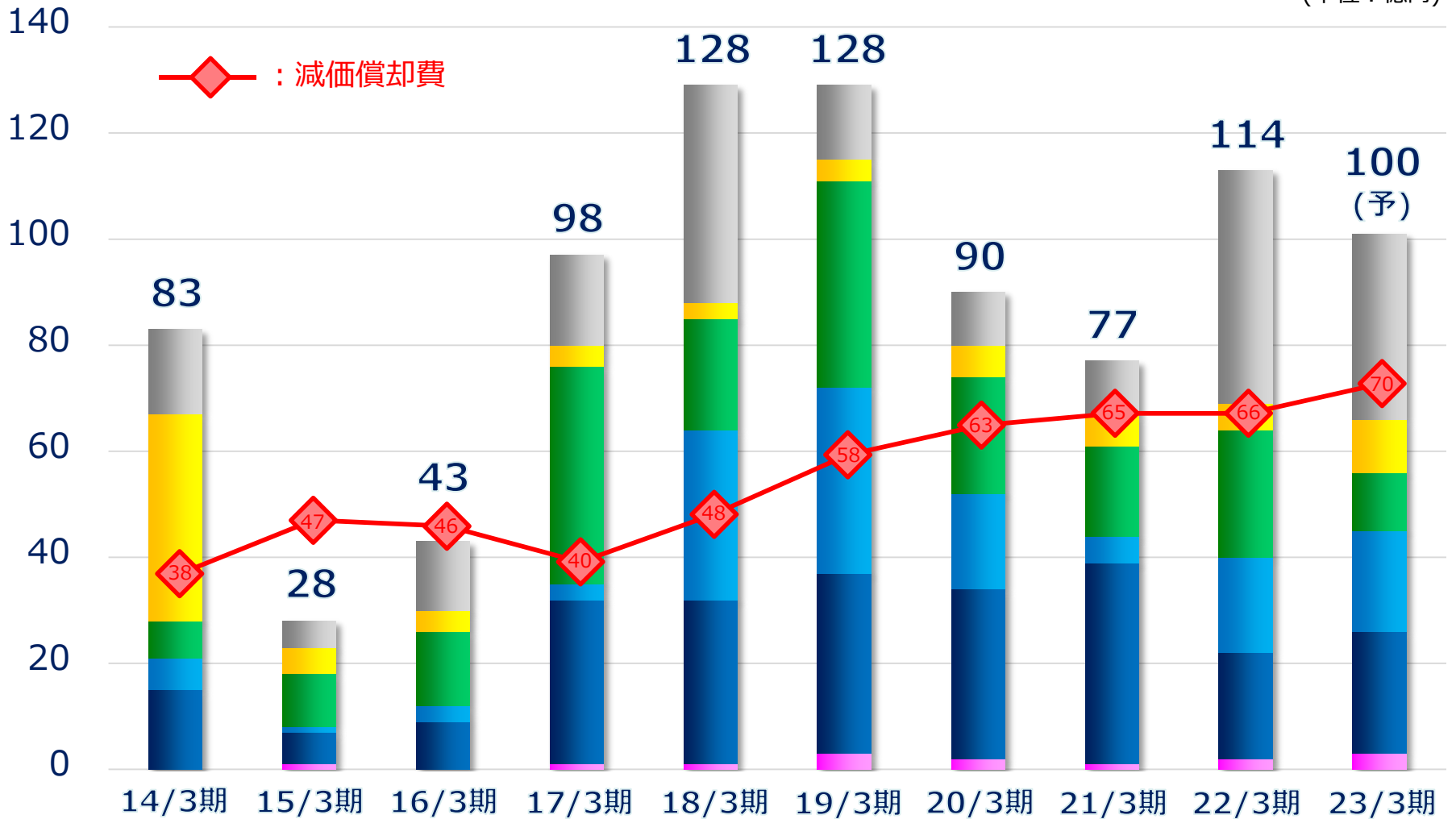
	2022年3月期 実績	2025年3月期 目標値	2027年3月期 イメージ
期間	前中計 最終年度	第1ステージ (前半3カ年)	第2ステージ (後半2カ年)
<b>CO<sub>2</sub> 排出量</b> ※ (万t)	24.4	22.0	21.7
産業廃棄物 <b>排出量</b> (千t)	21.6	18.3	17.1
顧客のCO <sub>2</sub> 排出削減 <b>貢献量</b> (万t)	—	<b>検討中</b> (2023年3月期第2四半期に公開予定)	

※ 2030年排出量18.2万t (目標値) … 2019年度比△30%削減

	2022年3月期 実績	2025年3月期 目標値	2027年3月期 イメージ
期間	前中計 最終年度	第1ステージ (前半3カ年)	第2ステージ (後半2カ年)
<b>手元流動性</b> (月数)	3.0カ月	<b>3.0カ月 目安</b> あらゆる有事や金融危機等があっても 直ちに資金繰りに窮しない水準を当面維持	
<b>有利子負債</b> (億円)	257	100	100
<b>自己資本比率</b> (%)	62.5%	70%程度	75%程度

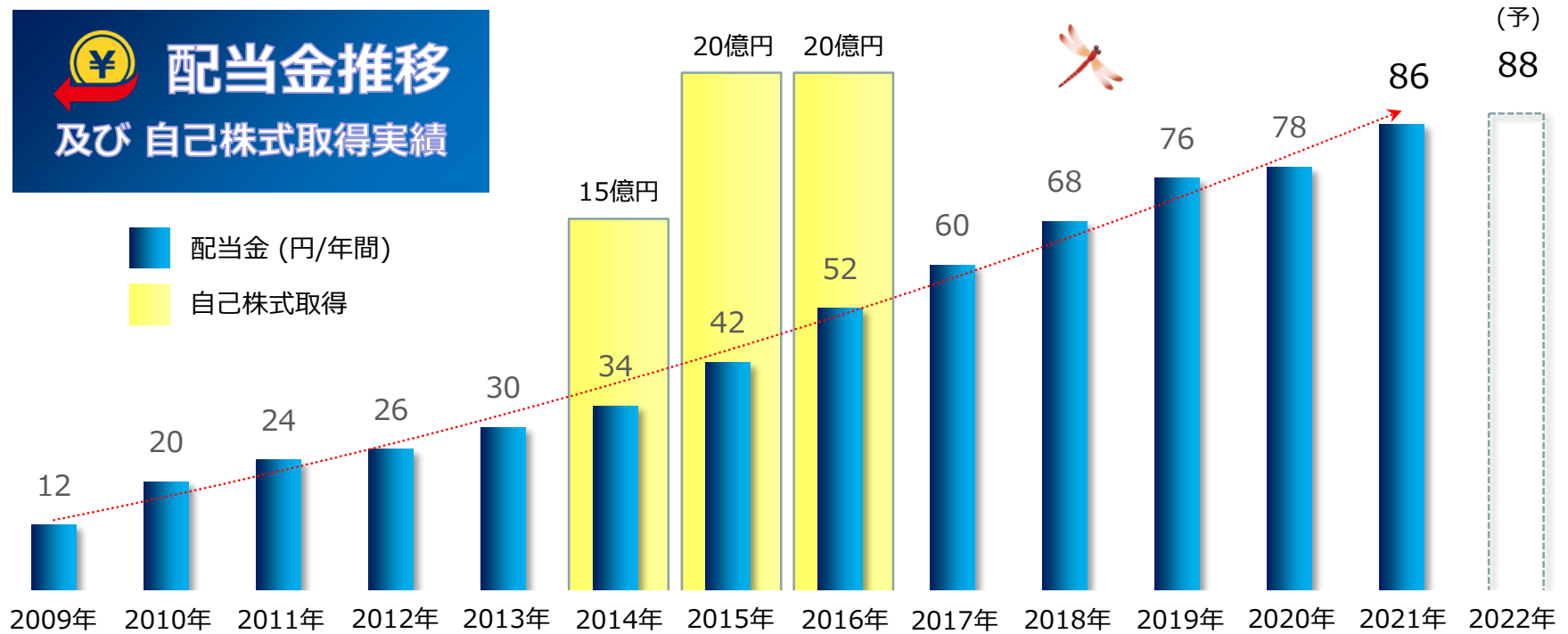
# ◇ 設備投資額・減価償却費の推移

(単位：億円)





## 配当金推移 及び 自己株式取得実績



### 配当

今後も安定的な配当を継続致します。  
また、配当性向は25～50%を目安とします。

### 自己株式取得

手元流動性と成長・環境投資とのバランスに  
鑑みながら、適宜検討して参ります。

AA

【最新】 2022年4月付

A

**A**  
安定的

A-

BBB+

BBB

BBB-



2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022

# E

【環境】

# S

【社会】

# G

【企業統治】

**3** すべての人に健康と福祉を

**7** エネルギーをみんなにそしてクリーンに

**11** 住み続けられるまちづくりを

**12** つくる責任 つかう責任

**13** 気候変動に具体的な対策を

## カーボンニュートラルなどサステイナブルな社会の実現に貢献

### 循環型社会実現に貢献

### 大気汚染防止に貢献

**5** ジェンダー平等を達成しよう


**8** 働きがいも経済成長も

**10** 人や国の不平等をなくそう

健康経営優良法人2022  
認定取得

## ステークホルダーの人権保護に貢献

## 健康で働きやすい明るい会社の実現



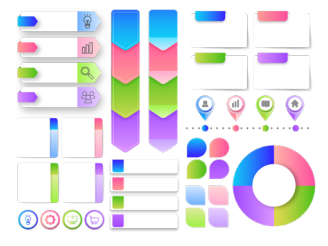
健康経営優良法人  
Health and productivity

**16** 平和と公正をすべての人に

今年度より統合報告書を  
リリース予定

## CGコードへの適正な対応

## 法令・コンプライアンス遵守





変化つけ活性化させながら  
NKKをニチアス固有の文化へ



ニチアスらしさが溢れる活動 … 改善は人の成長を促し、風通しと帰属意識の高まりを生む

働きやすい明るい会社

しくみ



## ニチアス 理念

ニチアスは、  
「断つ・保つ」の技術で  
地球の明るい未来に貢献します。

### 私たちの約束

ルールを守り、社会と共に歩みます。  
感謝の心を忘れず、  
お客さまの満足を追求します。  
互いに信頼し、共に成長します。

「断つ・保つ」で  
明るい未来へ



## ニチアス 環境憲章

ニチアスは、「断つ・保つ」の技術を活かし、  
地球温暖化をはじめとする  
さまざまな環境負荷を低減し、  
持続発展可能な社会の実現に貢献します。

### 環境行動指針

ニチアス環境憲章に従い、  
以下の項目を継続的に活動し、改善を図っていきます。

- 1 | コンプライアンスの徹底**  
法令順守はもとより、自主基準を設定し、社会的責任を果たします。
- 2 | 環境負荷低減製品の開発**  
環境負荷低減に役立つ製品及びサービスを開発し、普及に努めます。
- 3 | 環境パフォーマンスの向上**  
省エネ・省資源・化学物質管理などの環境目標をたて、実行します。
- 4 | 社会との共存**  
地域社会と共存するとともに、豊かな自然を大切にします。